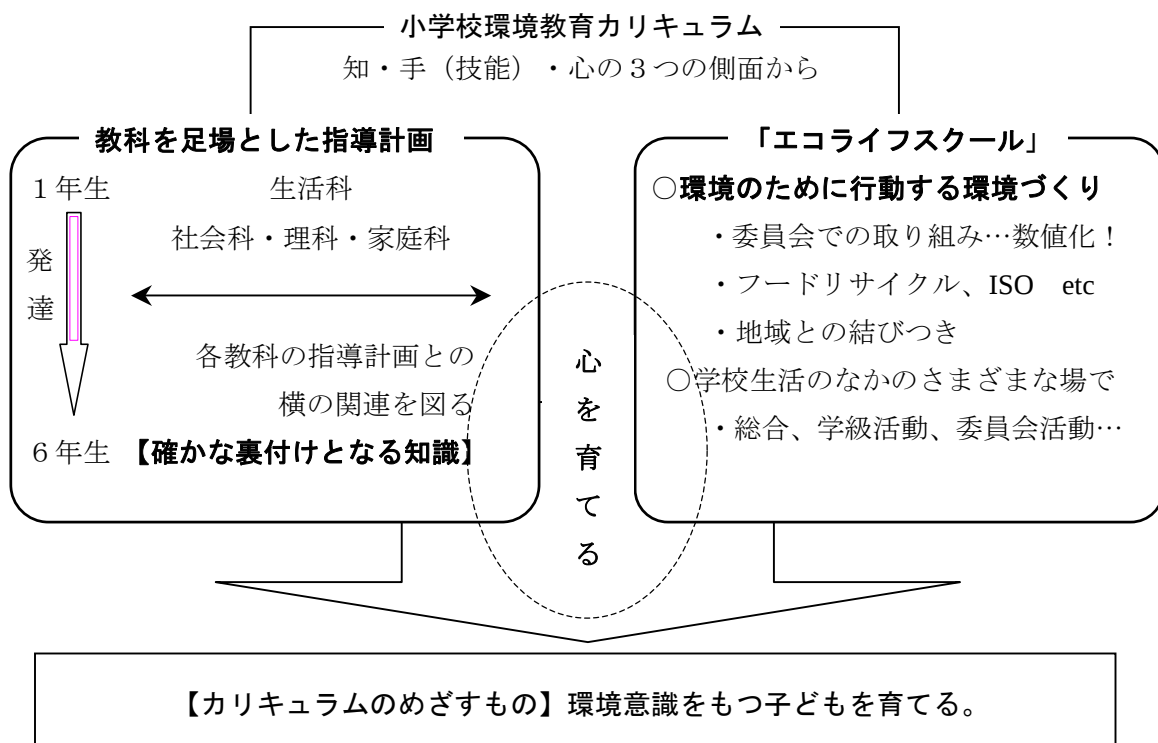


小学校での環境教育について

- (1)どの学校においても取り組んでいくことのできる、実現性の高いカリキュラムであること。
- (2)「環境意識を育てること」を中心に、既に各学校で行われている取り組みを再構成することで、現在の取り組みを最大限に活用すること。
- (3)「知的な学び」(頭)と「体験的な活動」(手…技能)を行き来させることで、子どもたちに「環境意識」(心)を育てていくこと。



- まず第1に、「エコライフレポート」に学校ぐるみで参加することを核にして、環境教育への取り組みを始めたい。
- 教科の学習の中には、「環境について学ぶ単元」がたくさんある。教科の指導計画に位置付く環境に関連した学習をきちんと行うことで、環境教育（小学校）のかなりの部分を行うことができる。そこで、小学校のプログラムには、教科の指導計画の中の環境にかかわる単元をピックアップし、具体的な学習展開とそれにかかわる資料をあげた。
- 総合的な学習の時間での取り組みや学年・学級の時間での取り組みについては、教科での学習の様子や児童の発達段階を考慮し、学年ごとに見合った活動の例をあげた。
- 最後に、学校全体の取り組みとして委員会活動で取り上げる活動の例をあげた。すべてに組み込むと考えるのではなく、設置可能な委員会を考慮して進めていくとよい。